



分類	質問 (Q)	答え (A)
学習	経絡の知識がなくとも初級コースの理解ができますか。	十分出来ます。
学習	治療は同時に何箇所もやらないとだめでしょうか。	治療箇所が多い場合は、同時でなくても順番に治療すれば効果はあります。
手技	治療ポイントを適格に刺激すると、患者はツボを押されたときのような痛みとして感じるのか。	不快な痛みのように感じます。
手技	押さえる強さは？	しっかりと奥まで入れます。力いっぱい入れるのではなく、ポイントは悪いところと対応しているので、強く押えなくともかなり痛みを感じます。また、症状が良くなるにしたがい、押された痛みも軽くなります。
手技	刺激の方向性による効果の違いはあるか。	方向性を間違えると効果がありませんので、注意が必要です。
ライン	遠絡ラインは経絡とほぼ同じか。	経絡の走行は、中国、日本、韓国で多少の違いがあります。遠絡では中国の経絡を修正してラインを完成させています。
ポイント	"C", "F"ポイントと経穴は同じか。	ポイントは一本鍼ポイントの数千例の臨床データを基づいて導き出された遠絡独自のもので、経穴と一致するものは全体の1/3もありません。
ポイント	治療ポイントは疼痛ラインの同側か対側か。	治療ポイントが陰経の場合は対側、陽経の場合は同側、但し例外があります (TxIIIは同側、Ty Iは対側)。
ポイント	経穴との相関は？	Fポイントをすべて経穴にあてはめるものではありません。(無理に当てはめようとして、混乱する恐れがあります。)
ポイント	ポイントの解剖学的基準を教えて欲しい。	初級実技で実習します。
治療	痛みが無く重みが主症状の治療は？	痛みの治療だけでも重みが多少変化します。重みの治療は初級実技で習得できます。(連接→相克です。)
対象	内科疾患(高血圧、自律神経失調症)の治療も可能か。	可能です。
対象	急性疾患の除痛は可能か。	急性期は炎症も激しいので、痛みは軽減されるが炎症によるdull painの軽減は難しい。痛みはすぐに戻ってくる可能性が高いです。
理論	陰経と陽経の流れの方向は？	万歳をし、手の指先から足の指先に流れるのが陽経、足の指先から手の指先に流れるのが陰経です。